

# 検証意見書

2025年8月27日  
意見書番号：SGS25/117

株式会社ゴールドワイン  
東京都港区北青山3-5-6 青朋ビル  
代表取締役社長  
渡辺 貴生 様



## 検証目的

SGSジャパン株式会社（以下、当社）は、株式会社ゴールドワイン（以下、組織）からの依頼に基づき、組織が作成した検証対象（以下、GHG等に関するステートメント）について、検証基準（ISO14064-3:2019及び当社の検証手順）に基づいて検証を実施した。本検証業務の目的は、組織の対象範囲にかかるGHG等に関するステートメントについて、判断基準に照らし適正に算定・報告されているかを独立の立場から確認し、第三者としての意見を表明することである。GHG等に関するステートメントの作成及び公正な報告の責任は組織にある。

## 検証範囲

検証対象は、Scope1及びScope2、Scope3である。

対象期間は2024年4月1日～2025年3月31日である。

詳細な検証対象範囲は別紙参照。

## 検証手順

本検証業務は、検証基準に則り、限定的保証水準にて次の手続きを実施した。

- 算定体制の検証：検証対象の測定・集計・算定・報告方法に関する質問、及び関連資料の閲覧
- 定量的データの検証：本社及び南大沢店の現地検証及び証憑突合、本社でのその他検証対象範囲に対する分析的手続及び質問

判断基準は、温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer6.0、サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドラインVer2.7、サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベースVer3.5、組織が定めた手順を用いた。

## 結論

前述の要領に基づいて実施した検証手続の範囲において、組織のGHG等に関するステートメントが、判断基準に従って、算定及び報告されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。

なお、当社は、組織から独立しており、公平性を損なう可能性や利害の抵触はない。

SGSジャパン株式会社

神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134  
横浜ビジネスパークノーススクエアI  
ビジネスアシュアランス  
認証・認定統括責任者

竹内 裕二

1 / 2

別紙

2025年8月27日  
意見書番号：SGS25/117

### 検証対象範囲の詳細

検証対象	検証範囲	GHG等に関するステートメント
1 Scope1, 2 (エネルギー起源CO <sub>2</sub> )	組織及びグループ国内関係会社 (単体152サイト、関連会社16社27サイト)	Scope 1: 286 t-CO <sub>2</sub> Scope 2: ロケーションベース： 4,114 t-CO <sub>2</sub> マーケットベース： 2,613 t-CO <sub>2</sub>
2 再生可能エネルギー量	組織及びグループ国内関係会社 (単体15サイト、関連会社2社8サイト)	4,017,499 kWh
3 Scope 3 (カテゴリー1)	組織の連結対象範囲	201,971 t-CO <sub>2</sub>
4 Scope 3 (カテゴリー3)	組織及びグループ国内関係会社 (単体152サイト、関連会社16社27サイト)	739 t-CO <sub>2</sub>
5 Scope 3 (カテゴリー4)	組織の連結対象範囲 ※販売管理システムから抽出された製品に限る	3,973 t-CO <sub>2</sub>
6 Scope 3 (カテゴリー5) ※一般廃棄物は除く	組織及びグループ国内関係会社 (単体6サイト、関連会社7社3サイト)	49 t-CO <sub>2</sub>
7 Scope 3 (カテゴリー6)	組織及びグループ国内関係会社	379 t-CO <sub>2</sub>
8 Scope 3 (カテゴリー7)	組織及びグループ国内関係会社	882 t-CO <sub>2</sub>
9 Scope 3 (カテゴリー12)	組織の連結対象範囲 ※販売管理システムから抽出された製品に限る	1,943 t-CO <sub>2</sub>

Scope 1,2の検証の過程で、非化石証書での非化石価値 (kWh) を確認した。また、上記ステートメントには非化石価値は反映されていない。

確認項目	数量
1 非化石証書	非化石価値 1,978,101 kWh